



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ
コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部部長 (氏名) 芝田 浩実

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|------|------|------|------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第2四半期 | 22,989 | 4.0 | 212 | 39.0 | 485 | 14.2 | 397 | 3.4 |
| 29年3月期第2四半期 | 23,936 | 1.0 | 347 | 10.3 | 565 | 7.7 | 384 | 8.2 |

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 298百万円 (14.8%) 29年3月期第2四半期 350百万円 (16.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 42.40 | 42.33 |
| 29年3月期第2四半期 | 41.02 | 40.99 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第2四半期 | 36,432 | 19,855 | 54.5 | 2,114.46 |
| 29年3月期 | 36,668 | 19,667 | 53.6 | 2,094.75 |

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 19,844百万円 29年3月期 19,657百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | | 20.00 | | 12.00 | 32.00 |
| 30年3月期 | | 17.00 | | | |
| 30年3月期(予想) | | | | 18.00 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 50,000 | 4.1 | 950 | 7.4 | 1,300 | 0.7 | 1,000 | 2.9 | 106.55 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期2Q | 11,025,032 株 | 29年3月期 | 11,025,032 株 |
| 期末自己株式数 | 30年3月期2Q | 1,639,833 株 | 29年3月期 | 1,640,833 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期2Q | 9,384,770 株 | 29年3月期2Q | 9,383,659 株 |

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (会計上の見積りの変更) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の経済・金融政策を背景に輸出増加に伴う緩やかな景気拡大局面にあり、雇用・所得環境には改善がみられるものの、当社グループが属する「食」の分野では、食材価格や人件費の上昇傾向の中で、顧客獲得に向けた厳しい競争環境が続いており、依然として企業収益の改善には停滞感がみられております

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、幅広いお客様に満足いただける商品・サービスを提供すべく食材を厳選し、旬の食材を通じて季節を感じていただけるメニューの提供を進めてまいりました。また、店舗委託事業では、優良物件の仕入を進めるとともに、既存ビルのコンバージョン提案などの物件価値向上につなげる新たな取り組みを進めてまいりました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高229億89百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益2億12百万円（前年同期比39.0%減）、経常利益4億85百万円（前年同期比14.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億97百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間において報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較は、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメントに組み替えた数値で行っております。報告セグメントの区分変更の詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」を御参照ください。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求するとともに、ほっかほっか亭の新たな成長ステージに向けて、より幅広いお客様にお楽しみ頂けるメニューの開発を進めております。暑い時期の季節メニューでは、毎年ご好評いただいております「おろしシリーズ」に加え、今年新発売の「あなご天ぷら&しらす弁当」などが人気を集めました。レギュラーメニューでは、「極厚ハンバーグ弁当」がリニューアル以来累計100万食を超えるなど、高い支持をいただいております。店舗では、顧客満足度の持続的な向上に向けた「QSCアワード」の実施などの施策を継続しております。

新たな取り組みでは、「お店で手作り 日替りシリーズ」として、9月に「日替りデラックス」を、10月には和のおいしさをお楽しみいただく「日替り母さん弁当」を新発売し、いずれもご好評をいただいております。

しかしながら、労働力不足に伴う人件費の高止まり傾向や店舗営業時間の見直し、一部食材価格の上昇傾向などの影響もあり、持ち帰り弁当事業の売上高は92億80百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は5億38百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、優良物件を積極的に仕入れ、不採算店舗の解約などによる物件稼働率の向上を図ることにより、利益率の向上に努めてまいりました。また、既存ビルの飲食ビルへのコンバージョンや、新築物件のマスターリースを行う事を通して物件の価値向上につなげる新たな取り組みを推進してまいりました。

また、「飲食業界で生きる人」のための情報サイト「店通（てんつう）」の運営を通して自社ブランドの周知及びイメージ向上に取り組み、当社サービスへの信頼向上を図ってまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は118億93百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は2億42百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、前期末および当期初の所有不動産売却に伴い減収ではあるものの、ビルオーナーのニーズにきめ細かにお応えし、ビル管理契約数の増加と、関連する収益機会増大、利益拡大を図っております。

また、ビルオーナー向けに資産価値向上のための各種サービスを提案する取り組みを進めてまいりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は3億6百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益は1億79百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

④フレッシュベーカー事業

フレッシュベーカー事業においては、商品品質とアイテム数の充実を目指し、毎月8種以上の新商品を投入し、お客様に新鮮さをアピールするとともに、既存商品のブラッシュアップを積極的に進め、品質向上を訴求してまいりました。しかしながら、新ブランドの浸透に時間を要していること、労働力不足の影響により人件費の高止まり傾向が見られることなどにより、売上高、営業利益ともに前年を下回って進捗しております。

この結果、フレッシュベーカー事業の売上高は7億8百万円（前年同期比28.2%減）、営業損失は1億16百万円（前年同期は営業損失9百万円）となりました。

⑤その他の事業

物流関連事業においては、引き続き新規の物流業務獲得を推進するとともに、自社製造商品のグループ外企業向け販売について、販路開拓・取り扱い拡大に向けた営業強化に取り組んでおります。

物流関連事業を担うグループ会社である株式会社アサヒL&Cでは、惣菜・食材の物流・配送に際し、衛生管理の徹底を求める社会の期待に揺るぎない高水準の食品安全レベルを証明することで応え、消費者の皆様へ安心・安全・高品質な惣菜・食材をお届けするため、食品安全マネジメントシステムの国際規格であるISO22000と、それを発展させた規格であるFSSC22000の認証を取得しております。グループ外企業との更なる取引拡大に向け、ますます高まる食品の安心・安全への関心に応え、市場におけるアドバンテージの獲得を目指しております。

なお、当社グループでは、持続的成長と収益力の向上を図り、強化すべき事業領域に重点的に経営資源を投入して事業の選択と集中を進める観点から、平成29年4月1日付で「びっくり寿司」事業を譲渡しております。

この結果、事業譲渡による影響もあり、その他の事業の売上高は8億1百万円（前年同期比30.7%減）、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少し、364億32百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が8億13百万円、投資有価証券が2億95百万円増加し、建物等の有形固定資産が10億42百万円、敷金及び保証金が1億91百万円減少したことによるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少し、165億77百万円となりました。主な要因として、1年内返済予定の長期借入金が4億46百万円増加し、長期借入金が9億31百万円減少したことによるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億87百万円増加し、198億55百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.6%から0.9ポイント上昇し、54.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ6億69百万円増加、前連結会計年度末と比べ8億13百万円増加して74億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、9億54百万円（前年同期に得られた資金は13億95百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億55百万円、減価償却費4億52百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、5億35百万円（前年同期に使用した資金は6億7百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入9億98百万円、事業譲渡による収入3億83百万円、投資有価証券の売却による収入1億92百万円および、有形固定資産の取得による支出5億83百万円、投資有価証券の取得による支出4億57百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億77百万円（前年同期に得られた資金は2億36百万円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入7億46百万円および、長期借入金の返済による支出12億31百万円、配当金の支払額1億12百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、フレッシュベーカーリー事業における新ブランド浸透の遅れなどにより予想値を下回る結果となりました。詳細につきましては、本日（平成29年11月8日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を御参照ください。

なお、平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,660,672 | 7,473,808 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,678,594 | 1,591,963 |
| 商品及び製品 | 460,602 | 528,179 |
| 原材料及び貯蔵品 | 113,314 | 120,912 |
| 繰延税金資産 | 374,761 | 347,848 |
| その他 | 862,318 | 863,532 |
| 貸倒引当金 | △22,790 | △17,770 |
| 流動資産合計 | 10,127,472 | 10,908,474 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 5,862,094 | 5,577,758 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 227,651 | 282,667 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 354,173 | 288,595 |
| 土地 | 11,685,574 | 10,960,880 |
| リース資産（純額） | 86,737 | 68,611 |
| 建設仮勘定 | 11,070 | 6,243 |
| 有形固定資産合計 | 18,227,300 | 17,184,756 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 68,996 | 17,649 |
| その他 | 180,426 | 163,965 |
| 無形固定資産合計 | 249,422 | 181,614 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,657,930 | 1,953,156 |
| 長期貸付金 | 56,684 | 67,525 |
| 敷金及び保証金 | 5,702,133 | 5,510,176 |
| 繰延税金資産 | 163,384 | 188,935 |
| 長期未収入金 | 655,598 | 654,620 |
| その他 | 474,962 | 442,217 |
| 貸倒引当金 | △646,595 | △658,590 |
| 投資その他の資産合計 | 8,064,097 | 8,158,041 |
| 固定資産合計 | 26,540,821 | 25,524,413 |
| 資産合計 | 36,668,293 | 36,432,887 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,237,414 | 2,299,592 |
| 短期借入金 | 836,412 | 802,998 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,686,528 | 2,132,628 |
| 未払金 | 839,576 | 885,562 |
| 未払法人税等 | 192,230 | 214,671 |
| 未払消費税等 | 143,135 | 119,549 |
| 賞与引当金 | 171,124 | 184,373 |
| その他 | 1,705,609 | 1,670,509 |
| 流動負債合計 | 7,812,031 | 8,309,884 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,457,425 | 3,526,061 |
| 退職給付に係る負債 | 39,323 | 40,063 |
| 長期預り保証金 | 3,942,689 | 3,998,700 |
| 繰延税金負債 | 227,196 | 160,148 |
| 資産除去債務 | 329,459 | 339,930 |
| その他 | 192,389 | 203,030 |
| 固定負債合計 | 9,188,483 | 8,267,935 |
| 負債合計 | 17,000,515 | 16,577,820 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,036,649 | 4,036,649 |
| 資本剰余金 | 3,982,495 | 3,982,078 |
| 利益剰余金 | 13,767,744 | 14,052,947 |
| 自己株式 | △2,305,700 | △2,304,293 |
| 株主資本合計 | 19,481,189 | 19,767,382 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 176,364 | 77,237 |
| その他の包括利益累計額合計 | 176,364 | 77,237 |
| 新株予約権 | 10,224 | 10,447 |
| 非支配株主持分 | — | — |
| 純資産合計 | 19,667,778 | 19,855,067 |
| 負債純資産合計 | 36,668,293 | 36,432,887 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 23,936,110 | 22,989,685 |
| 売上原価 | 18,478,412 | 18,001,824 |
| 売上総利益 | 5,457,697 | 4,987,861 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,110,133 | 4,775,776 |
| 営業利益 | 347,563 | 212,085 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,157 | 1,943 |
| 受取配当金 | 4,616 | 3,677 |
| 受取賃貸料 | 95,657 | 92,769 |
| 業務委託契約解約益 | 47,173 | 78,720 |
| 持分法による投資利益 | 20,209 | 19,724 |
| その他 | 109,767 | 134,540 |
| 営業外収益合計 | 279,581 | 331,376 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,005 | 16,304 |
| 賃貸費用 | 19,186 | 17,190 |
| 業務委託契約解約損 | 5,608 | 5,402 |
| その他 | 17,781 | 19,320 |
| 営業外費用合計 | 61,582 | 58,218 |
| 経常利益 | 565,561 | 485,243 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,512 | 27,315 |
| 投資有価証券売却益 | 87,972 | 156,276 |
| 受取補償金 | 16,000 | 9,090 |
| 事業分離における移転利益 | — | 50,000 |
| その他 | — | 4,828 |
| 特別利益合計 | 105,484 | 247,511 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 83,261 | 29,186 |
| 固定資産売却損 | 2,657 | — |
| 減損損失 | 31,141 | 144,304 |
| その他 | 17,503 | 3,764 |
| 特別損失合計 | 134,563 | 177,255 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 536,482 | 555,499 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 115,432 | 177,368 |
| 法人税等調整額 | 36,427 | △19,776 |
| 法人税等合計 | 151,860 | 157,592 |
| 四半期純利益 | 384,622 | 397,907 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △291 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 384,914 | 397,907 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 384,622 | 397,907 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △31,967 | △104,138 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △2,119 | 5,011 |
| その他の包括利益合計 | △34,087 | △99,126 |
| 四半期包括利益 | 350,535 | 298,780 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 350,826 | 298,780 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △291 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 536,482 | 555,499 |
| 減価償却費 | 520,496 | 452,587 |
| のれん償却額 | 17,239 | 7,032 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 1,145 | △27,315 |
| 固定資産除却損 | 83,261 | 29,186 |
| 減損損失 | 31,141 | 144,304 |
| 事業譲渡損益(△は益) | — | △50,000 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △87,972 | △156,276 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 2,762 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △170,182 | 6,974 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △1,946 | 13,248 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 908 | 739 |
| 受取利息及び受取配当金 | △6,774 | △5,621 |
| 支払利息 | 19,005 | 16,304 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △20,209 | △19,724 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 105,119 | 86,630 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 70,373 | △81,703 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 12,112 | 62,177 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 28,036 | △40,937 |
| 長期未収入金の増減額(△は増加) | 180,479 | 977 |
| その他 | 77,406 | 108,904 |
| 小計 | 1,398,886 | 1,102,988 |
| 法人税等の支払額 | △55,790 | △150,939 |
| 法人税等の還付額 | 51,991 | 2,679 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,395,086 | 954,727 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 利息及び配当金の受取額 | 7,272 | 5,999 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △603,712 | △583,622 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 111,752 | 998,500 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △42,824 | △9,287 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5,135 | △1,218 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △457,546 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 126,105 | 192,785 |
| 短期貸付金の純増減額(△は増加) | △1,489 | — |
| 長期貸付けによる支出 | △920 | △15,000 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 3,424 | 4,213 |
| 差入保証金の純増減額(△は増加) | △30,398 | 45,951 |
| 事業譲渡による収入 | — | 383,543 |
| その他 | △171,239 | △28,749 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △607,164 | 535,569 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 利息の支払額 | △19,785 | △16,759 |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △33,414 | △33,414 |
| 長期借入れによる収入 | 1,088,000 | 746,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △503,274 | △1,231,264 |
| 社債の償還による支出 | △22,500 | — |
| 自己株式の処分による収入 | — | 894 |
| 配当金の支払額 | △234,614 | △112,985 |
| リース債務の返済による支出 | △35,236 | △28,838 |
| その他 | △2,284 | △816 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 236,890 | △677,182 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | 21 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,024,813 | 813,136 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,778,938 | 6,659,658 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,803,752 | 7,472,795 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|--------------|------------|---------|-------------------|------------|
| | 持ち帰り 弁当事業 | 店舗委託事業 | 店舗管理事業 | フレッシュ バーカーリー事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,945,081 | 11,491,969 | 356,106 | 986,568 | 22,779,725 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 227,323 | — | — | 454 | 227,778 |
| 計 | 10,172,405 | 11,491,969 | 356,106 | 987,023 | 23,007,503 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 564,658 | 239,182 | 204,297 | △9,081 | 999,056 |

| | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結損益計算書 計上額(注)3 |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,156,384 | 23,936,110 | — | 23,936,110 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,320,615 | 1,548,393 | △1,548,393 | — |
| 計 | 2,477,000 | 25,484,504 | △1,548,393 | 23,936,110 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 7,229 | 1,006,286 | △658,722 | 347,563 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、店舗直営事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△658,722千円には、セグメント間取引消去△9,024千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△649,698千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|--------------|------------|---------|------------------|------------|
| | 持ち帰り 弁当事業 | 店舗委託事業 | 店舗管理事業 | フレッシュ ベーカリー事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,280,332 | 11,893,914 | 306,095 | 708,275 | 22,188,619 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 89,700 | — | — | 26 | 89,726 |
| 計 | 9,370,033 | 11,893,914 | 306,095 | 708,302 | 22,278,346 |
| セグメント利益又は損 失（△） | 538,315 | 242,723 | 179,547 | △116,740 | 843,845 |

| | その他 （注）1 | 合計 | 調整額 （注）2 | 四半期 連結損益計算書 計上額（注）3 |
|-----------------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 801,066 | 22,989,685 | — | 22,989,685 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1,124,961 | 1,214,688 | △1,214,688 | — |
| 計 | 1,926,028 | 24,204,374 | △1,214,688 | 22,989,685 |
| セグメント利益又は損 失（△） | △0 | 843,845 | △631,760 | 212,085 |

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、店舗直営事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△631,760千円には、セグメント間取引消去△6,649千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△625,110千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「持ち帰り弁当事業」および「フレッシュベーカリー事業」において、固定資産の減損損失を計上しております。当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、「持ち帰り弁当事業」において52,459千円、「フレッシュベーカリー事業」において91,051千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

当社連結子会社である店舗プレミアム株式会社の「びっくり寿司」事業を、平成29年4月1日付で譲渡したことにより、「その他」におけるのれんの金額が44,314千円減少しております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、持続的成長と収益力の向上を図るべく、強化すべき事業領域に重点的に経営資源を投入して事業の選択と集中を進める観点から、当社連結子会社である店舗プレミアム株式会社が営む「びっくり寿司」事業を、平成29年4月1日付で譲渡いたしました。

店舗直営事業につきましては、この事業譲渡により当該報告セグメントを構成するすべての事業を譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「その他」に含めて表示する方法に変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「フレッシュベーカリー事業」につきまして、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。